

第1 基本方針

阿蘇地域には、約2万2千haもの草地が分布し、約170牧野組合で入会権のもと利用されている。これら草資源は、放牧や採草に利用され、当地域の基幹産業である畜産業の重要な生産基盤となっている。

しかしながら、高齢化や後継者不足による有畜農家の減少により、草地の遊休化や荒廃が進み、さらに、放牧を中止する組合も現れ、草地の利用率の低下や阿蘇特有の景観への影響が懸念される状況にある。また、輸入飼料価格高騰の影響により、自給飼料の増産対策と有効利用が喫緊の課題となっている。

このような背景を踏まえ、草資源の有効利用と新しい技術を利用した草地の管理方式や、草地を高度に利用した肉用牛及び牛肉生産の技術開発を行う。

第2 重要研究事項

1 多彩なくまもと農業の魅力を発信できる新品種の開発・選定

- (1) 阿蘇地域に適応した牧草の品種を選定し、その栽培利用技術を確立する。
- (2) 褐毛和種供卵牛から、採卵して受精卵を供給する。

2 草地資源を活用した肉用牛放牧肥育技術の効率化

- (1) 野草地を利用した肥育技術を確立する。
- (2) 放牧肥育牛の飼い直し技術を確立する。
- (3) 野草地を活用した放牧肥育牛の肉質特性を解明する。

3 農用馬の安全で省力的な繁殖管理技術の開発

- (1) 超音波画像解析装置を用い、人工授精適期の把握により、受胎率を向上させる。
- (2) ICTを活用して、農用馬の分娩時期とその難易度を予測する。

4 放牧牛と草地の省力管理技術の開発

- (1) ICTを活用した繁殖牛の放牧管理技術を確立する。
- (2) ICTを活用した育成子牛の放牧管理技術を確立する。
- (3) ラジコンヘリと衛星からの画像情報を用いた草地管理方法を確立する。

第3 試験研究課題一覧

【草地畜産研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
畜産	1. 多彩なくまもと農業の魅力を発信できる新品種の開発・選定	(1) 牧草の栽培利用技術の開発	636	県単	① 高標高地域における牧草の新品種選定	H3～継続
		(2) あか牛新生産システム緊急対策	畜産課	令達	② 受精卵移植を利用したあか牛繁殖雌牛の増産	H26～H29
	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	新規 (1) 草地資源を活用した肉用牛放牧肥育技術の効率化	10,959 (内外部資金 6,001)	県単	① 野草地を利用した肥育技術の検討 ② 放牧肥育牛の飼い直し技術の検討 ③ 野草地を活用した放牧肥育牛の肉質特性の解明	H28～H30 H28～H30 H28～H30
		新規 (2) 農用馬の安全で省力的な繁殖管理技術の開発	畜産課	令達	① 超音波画像解析装置を用いた人工授精適期の把握による受胎率の向上 ② ICTを活用した分娩時期とその難易度の予測による省力的な分娩管理	H28～H30 H28～H30
		組替 (3) 放牧牛と草地の省力管理技術の開発	11,962 (内外部資金 5,348)	県単	① ICTを活用した繁殖牛の放牧管理技術の検討 ② ICTを活用した育成子牛の放牧管理技術の検討 ③ ラジコンヘリと衛星からの画像情報を用いた草地管理の効率化	H28～H32 H28～H32 H28～H32

注) **新規**：本年度から新たに取り組む課題

組替：課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

延長：課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

短縮：課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題